

自主防災組織について

1 自主防災組織とは

災害発生時に円滑な防災活動を行うためには、町内ぐるみで相互に助け合うことが重要です。

自主防災組織は、住民同士が協力して自発的につくるもので、地域における初期段階での防災活動の中心となります。

2 自主防災組織に求められるもの

- ①指揮命令系統がはっきりしていること。
- ②住民の相当多数が加入していること。
- ③住民に対しリーダーシップを発揮できること。
- ④市役所との連携がとれること。

3 自主防災組織の防災体制（組織例）

今後、自主防災組織を整備する、または更新する予定の町内会は体制の参考としてください。



(1) 平常時の役割

- ・地震等災害についての知識の収集
- ・印刷物、講習会等による啓発
- ・防災・防火訓練の実施
- ・町内の危険個所の把握、点検
- ・防災備蓄の確認

(2) 災害時の役割

班名	役割	
	非常時	大規模災害発生後
情報班	▶ 町内の状況の収集 (高齢者等避難情報の発令まで)	▶ 住民への情報提供 ▶ 町内の安否確認
救助班	▶ 必要に応じて、河川等に土嚢の設置 (高齢者等避難情報の発令まで)	▶ 負傷者の救出、救護 ▶ 道路障害物等の除去
消火班	▶ 初期消火 ▶ 飛び火警戒	▶ 町内の安否確認
避難誘導班	▶ 町内公民館や一時避難所の開放 ▶ 高齢者等避難情報発令時に避難行動要支援者や支援者への避難連絡	▶ 一時避難所から市指定避難所への誘導 ▶ 町内の安否確認
食糧班	▶ 避難誘導班の支援	▶ 被災者への炊き出し ▶ 給水、救援物資配分の協力

<参考>

民生委員は非常時に、自主防災組織と協力して避難行動要支援者に対して避難の声掛け（電話等）をすることになります。

裏面へ続きます

4 自主防災組織の運営方法

①活動計画

組織運営には、安定した継続性が不可欠です。今後どのような活動を行うか、また年間を通じてどう具体化していくか、中長期的な計画を立てて実行してください。

②防災訓練

市では、訓練に対するアドバイス、職員の派遣および資機材の貸し出しを行っています。

自主防災組織が訓練に対する支援を受けようとするときは、事前に日程等の打合せをした後、鯖江市行政出前講座申込書を防災危機管理課に提出してください。（様式は防災危機管理課にあります。）

消防職員の派遣を依頼する場合は、消防署と事前に協議を行ってください。